

1月の野菜の見通し

平成30年12月26日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	9,325	多い	12,435	193	36% ※前年の 単価は品 薄で高騰	99	-	-	神奈川・千葉産中心の出回り。基本は生育順調だが、前進気味なために1月はやや減少が予想される。見通し単価は70円で、高騰した前年の4割程度、平年比でも大幅に安い。
はくさい	13,431	多い	13,427	149	34% ※前年の 単価は品 薄で高騰	78	-	-	茨城産は生育順調。兵庫や和歌山産も合わせて潤沢な出回りを見込む。見通し単価は85円で、高値を引き摺った前年を大幅に下回り、平年比でもかなりの程度安い。
キャベツ	11,821	多い	13,498	198	43% ※前年の 単価は品 薄で高騰	124	-	-	愛知・千葉・神奈川産、各地順調な出荷を見込む。見通し単価は85円で、高かった前年の5割を下回り、平年比でも大幅に安い。
ほうれん そう	1,164	多い	1,458	815	71% ※前年の 単価は品 薄で高騰	590	-	-	関東産は前進傾向で年明け分が年末に出荷されるため、1月は出回りが減ることが予想される。相場は年末需要で高まった後も横ばいで推移か。見通し単価は580円で、高値だった前年より大幅に安く、平年並み。
ねぎ	4,586	並	5,162	363	83%	293	82	1.8%	関東産、各地生育は順調で太物傾向。十分な出回り量があるだろう。見通し単価は300円で、入荷量が少なく高値だった前年よりやや安く、平年並み。
きゅうり	4,720	並	4,860	462	87%	422	-	-	宮崎・千葉・高知産中心の入荷。数量は前年並みかやや増を見込む。12月中下旬の高騰からの反動で、年明けは相場下落が予想される。見通し単価は400円で、前年・平年よりやや安い。
トマト	5,692	並	5,235	397	88%	407	-	-	熊本・栃木・愛知産中心の入荷。作柄は各地良好で数量は前年並みを見込む。見通し単価は350円で、前年・平年よりやや安い。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)